

科目番号	21	科目名	湖北の歴史と民俗文化		
英文科目名					
大学・短期大学名	滋賀文教短期			大学	
連絡先	滋賀文教短期大学 学務課 教務係				
	TEL :	0749-63-5815		FAX :	0749-65-1921
担当教員	中島 誠一			(非常勤講師)	
実施方法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	本館3階 305教室	会場	滋賀文教短期大学		
授業期間	2022 年 4 月 8 日 (金) ~ 2022 年 7 月 29 日 (金) <毎週 金曜日> 2 時限・講時 10 : 45 ~ 12 : 15				
超過時の選考方法	書類選考				
成績評価方法	定期試験 (筆記)				30 %
	レポート試験 (期末)				%
	平常点 (出席・授業態度)				50 %
	その他 (小テスト)				20 %
別途負担費用	なし		あり()円		
その他特記事項	<p><授業形態> 新型コロナウイルスの拡大状況により、対面授業が遠隔授業に切り替わる可能性があります。</p> <p><欠席連絡> 本学のホームページで公開しているシラバスでは、欠席連絡は講師に直接行うよう指示されています。しかし、単位互換制度を利用する学生については、学務課教務係に連絡してください。</p> <p><休補講> 6月3日・6月10日・6月17日については休講となり、5月13日・5月20日については2限目(10:45~12:15)とあわせて1限目(9:05~10:35)にも開講します。</p>				
<講義概要・到達目標>					
<p><講義概要> 本講座では、まず大学の立地する田村地域を中心に現地踏査学習をおこない、身の回りの文化的遺産を体験する。次に学習の範囲を、湖北全域に拡大し、パワーポイント、DVDを使った視聴などを交え、人々が継承する種々の生活文化財を学ぶ。そして長浜の基礎を築いた羽柴秀吉による城下町形成がもたらした文化的影響を2016年12月ユネスコ無形文化遺産登録となった長浜曳山祭や町づくりの姿から通観する。これらから湖北地域の豊かな歴史文化遺産を体験し、学び、生涯の糧となるよう講義を進めていく。</p>					
<p><到達目標> 1.湖北地域を中心に人々の暮らしの多様性について現地の文化遺産を踏査し体験し学び協調する態度を身に付けることができる。 2.湖北地域の歴史文化遺産について日本全体に視野を拡大してその特徴を把握する力をつけることができる→小テストによって自分の進行度合いを確認することができる。 3.人々の暮らしの中に息づく祭りや、特徴ある習俗に目を向け、地域の個性について理解する力を身に付けることができる。 4.湖北地域の歴史遺産が人々の生活に欠くことのできないものであることを、学習を通じて体得することによって自分の住む地域の様々な問題、課題について解決能力を身に付けることができる→期末テストによって自身の習得結果を確認することができる。</p>					

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	4月8日	湖北の歴史文化遺産PPTガイダンス。年間の学習内容説明。
2	4月15日	田村の歴史文化遺産－田村山登山&村の中を歩いて考える－（フィールドワーク）
3	4月22日	ユネスコ無形文化遺産－長浜曳山祭の行事内容について学ぶ－
4	4月29日	曳山文化の伝播－湖北を中心とした曳山祭の関連性について考える－
5	5月13日	湖北地域の雨ごい信仰の多様性－竜神信仰と太鼓踊りの関連を知る－
6	5月13日	近江で行われた雨ごい行事－竜神信仰と太鼓踊りの関連を学ぶ－
7	5月20日	湖北のオコナイ行事－なぜこの行事は根付いているのか考える－
8	5月20日	1～7回までの学習について振り返り、自分の進捗度を測る－小テスト－
9	5月27日	湖北の村の暮らし－長浜市西浅井町月出－過疎化と郷土愛
10	6月24日	湖北の村の暮らし－長浜市西浅井町菅浦－伝統と村の組織
11	7月1日	発展する明治の長浜－大商人たちの活躍－現在の長浜との関連
12	7月8日	長浜の食事－祭りと日常－鯖素麺、講汁、鮎鮓
13	7月15日	長浜の諸職－鍛冶屋、鼻緒、竹細工、提灯
14	7月22日	長浜の諸職－長浜仏壇と曳山修理
15	7月29日	歴史と民俗文化について振り返る

<教科書・参考書>

<教科書>

特になし

<参考書>

- ・中島誠一 著『川道のオコナイ 湖北に春を呼ぶ - 俵鏡餅』（サンライズ出版、2011年）
- ・中島誠一 監修『近江の祭りを歩く』（サンライズ出版、2012年）
- ・長浜城歴史博物館特別展 図録『近江のオコナイ』『山車・屋台・曳山』『手仕事を伝える』『神になった秀吉』等